

★11月13日(水) 平塚商工会議所  
★11月27日(水) 鎌倉芸術会館

たすけあいの三本柱の生活クラブまちづくり基金・エッコロプラス・ハグくみのしくみや意義を伝える「湘南たすけあいカフェ Co」を開催しました。

両会場とも福祉たすけあい基金から助成を受けた団体に活動報告をしてもらい、組合員の月100円の寄付がどのように活用されているかの理解がすすみました。生活クラブまちづくり基金は昨年10月に福祉たすけあい基金から生まれ変わり、助成の対象をひろげ、福祉のほか食や環境などの分野でも地域や社会に貢献する団体を応援するものです。ブースではまちづくり基金がめざしていることや基金のしくみについて、丁寧に説明しました。

日常生活の困りごとを組合員同士のたすけあいで解決するエッコロプラス、組合員が作った保障のしくみ共済ハグくみは、それぞれブースを設けて、活用の仕方など説明しました。また、お楽しみコーナーとしてエッコロ講座講師団体による苔玉づくりなどのワークショップやキンパの試食など用意しました。会場のあちらこちらで、来場者、講師団体、助成団体の垣根を越えた談笑が見られました。その場でまちづくり基金に参加したり、エッコロプラスやハグくみに加入したりする組合員もいて、生活クラブのたすけあいの活動について直接、伝え、語り合うことの大切さを実感しました。



平塚 苔玉づくり



鎌倉 助成団体活動報告

<活動報告をしてくださった助成団体>

平塚会場：あそびの庭(二宮)

親子の寺子屋ふれあい自遊塾(平塚)

鎌倉会場：まちライブラリー@池子(逗子)



リトルハブホーム(茅ヶ崎)

### みなし自由脱退報告

定款第10条(自由脱退)に基づき、みなし自由脱退者31名を確定し、理事会で承認しました。確定者のリストは、湘南生活クラブちがさきセンターに公示します。  
※定款第10条では、「住所の変更届を2年間行わなかったときは脱退の予告があったもの」とみなし、所在確認を定期的に行っても所在不明で連絡が取れない組合員に対し、理事会において「みなし自由脱退」の手続きを行うことを規定しています。

### 編集後記

生活クラブの家事代行サービスのモニター体験をしました。掃除を外注したことで、家も気持ちもスッキリ！また、同じ掃除でも依頼者の家というだけで「仕事」になるんだということを実感しました。(浅見)

組織報告	組合員数(10月末現在) 21,393人 (4月期首 21,176人) ●班 1,291人 ●個配 14,235人 ●デポー 5,673人 ●未組織 194人	  《Facebook》 《Instagram》
	世帯当たり利用高(10月) 24,879円 (前年度同月比 120.2%) ●班 32,823円 ●個配 30,280円 ●デポー 14,443円 ※班個 週数は40週~44週の5週間で前年+1週です。前年比125%で100%です。	
発行	第185号 2025.1.10 湘南生活クラブ理事会	発行責任：上石 理恵 編集責任：米村 聡子

みなさまからの声が、広報湘南の進化につながります。お気軽にご感想などお寄せください。☎ kohoshonan2019@gmail.com

### 公告

1. 第22回湘南生活クラブ生活協同組合通常総代会の開催  
下記のとおり第22回湘南生活クラブ生活協同組合通常総代会を開催いたします。

#### 記

日時：2025年6月3日(火) 10時~12時30分  
場所：茅ヶ崎市民文化会館 小ホール

予定議案：2024年度 活動報告の承認  
2024年度 事業報告書及び決算関係書類の承認  
監査報告  
2025年度 活動方針及び事業計画の決定  
2025年度 予算の決定  
役員報酬限度額の決定  
役員補充選挙  
特別アピール  
その他

[総代の公募]  
総代会はコモンズ・デポーより選出された200名の総代によって開催されます。総代は湘南生活クラブ生活協同組合の最高決議機関である総代会に出席し、組合員の代表として年間活動方針を審議し、決定する重要な役目をもちます。任期は1年です。

\*立候補又は推薦される方は2月7日(金)までに、総代選挙管理委員会まで立候補届けを提出してください。各区分選挙区で民主的な手続きを経て、選出されることになります。区分選挙区は鎌倉コモンズ、逗葉コモンズ、よこすかコモンズ、藤沢北コモンズ、湘南ふじさわコモンズ、茅ヶ崎コモンズ、コモンズひらつか、コモンズなかぐん、城下町コモンズ、コモンズはだの、コモンズ足柄、ちがさきデポー、らいふたうんデポー、鎌倉デポー、ひらつか西海岸デポーとなります。

### 2. 役員補充選挙の実施

第22回湘南生活クラブ生活協同組合通常総代会にて、下記の区分選挙区における役員補充選挙を実施します。役員の任期は第23回通常総代会までとなります。

・全体区 理事4名 監事1名

\*役員に立候補される方は、4月11日(金)までに下記の役員選考委員会事務局まで立候補届けを提出してください。  
役員選考委員会事務局：湘南生活クラブ生協・ちがさきセンター (0467-53-2211)

2025年1月5日  
湘南生活クラブ生活協同組合  
理事長 上石理恵

### 【理事会報告】

#### 第5回定例理事会(10月9日)

- ・2025年度策定第3次討議<基本方針・組織・FEC活動報告>
- ・2024年度CD会議重点活動の中間点検と下期対策

#### 第6回定例理事会(11月7日)

- ・2025年度策定第5次討議<基本方針・組織・FEC活動報告>
- ・2024年度下期居場所をテーマとしたアソシエーション支援基金の助成審査

#### 第4回臨時理事会(11月27日)

- ・2025年度活動計画策定資料最終確認と承認
- ・「デポー活用新機能スタートアップ助成」の審査

# 湘南

サステイナブルなひと、  
生活クラブ  
2025. 1月号

鎌倉C・逗葉・よこすか・藤沢北・湘南ふじさわ・茅ヶ崎・ひらつか・なかぐん・城下町・はだの・足柄・ちがさき・らいふたうん・鎌倉D・ひらつか西海岸

## <新春座談会> 新任理事が新任理事長と語るこれからの生活クラブ

2024年6月から就任した上石理事長と海老澤理事・太田理事・大學理事・武原理事の4名の新任理事が生活クラブの組合員活動について座談会を行いました。

### 【生活クラブ運動で組合員にもっと伝えたいこと】

海老澤：学習会で生活クラブ連合会の人から聞いた「対等互惠」という言葉が響いた。これからは人口も減り、生産者は激減すると感じている。「生産者を守る」という意識でないと。組合員同士のつながりだけではなく、生産者との横のつながりも伝えていきたい。

太田：生産者交流会に参加すると熱いメッセージを聞けるし、こちらも「買いたい」という思いになる。生産者からの一言は大きい。生産者にリアルで会って知ってもらって、その思いを伝えて、そこから運営委員や理事となっていてもらいたい。

武原：新規組合員対象の企画で話していくと、つながりがあり、思いは一つと再確認した。まずは「食」でつながる。いちばんは、「企画に来てほしい」。話をしようよ、ということ。Zoomでもいいから直接話したい。

大學：活動を始めて間もない頃には組合員を増やし利用を高めてその先には何があるのか考えもしなかった。生活クラブは安心・安全な材を共同購入するだけでなく自分の住み暮らす地域を豊かにする運動をしている生協だということをやより多くの人に気づいてもらうよう語り続けていきたい。

上石：生産者と「食べる約束」をしているので、食べる人を増やしていくことを自分たちで考えていけないといけない。食べることが基本。環境やたすけあいでは、まだまだ全体でやれることは多いので、フォーカスして深めないと思う。また、「地域でできること」、たとえば地域のまつりに参加して生活クラブをアピールしたり、地域で活動する団体と連携して地域づくりをすすめるなど、地域でできないことがある。自分たちでやれることをやろうよと伝えたい。

【これからの組合員活動でこんなことができればいいな】

武原：まずは食べるつながりで人は集まると思うので、そこを大事に広げていきたい。

海老澤：発信力や求心力が必要。活動している人が生き生きとしている姿を見てもらい、そこに参加した人といかにつながりをつくるか。活動している人に「がんばってね」と言える心構えが大事。そして組合員の「これならできる」を増やしていきたい。

太田：運営委員長のときに活動していたメンバーは楽しく熱意を持って活動をしてくれて楽しかった。運営委員がもっと増えたらいいのと思うけれど増えない。どうしていけばいいか、ひとりではできないのでみんなで一緒に考えていきたい。

大學：湘南生活クラブ設立当初から理事として組合員活動をしてきて、次のステップとして組合員を増やすことが主な業務である W.Co Jam を選んだ。理事会に W.Co 理事として参画したことで理事と W.Co 両方の経験を活かし、楽しく活動する組合員をたくさんにしたい。

上石：今は「なぜ組合員活動をやっているのか」という意義が薄れてきている。この先に行くために過去を知らないといけない。そこを押さえた上で「私たちはどうしていくのか」を一緒に考えながらやっていきたい。思いがある人たちの集団はすごくおもしろい。世の中の流れと違うものがあってもいい。同じ思いの人たちで細々とでも集まればいい。伝えていくことも大事。次年度は仲間づくりを重点にする年にしたい。「紹介活動」は組合員ができる拡大活動。未組合員も参加できる企画を開催して盛り上げていきたい。



武原



左から 海老澤 太田 上石 大學

# ◆ F 2024 年度重点活動 「作る約束、食べる約束」

## ★ 重点品目はお米と牛乳

今年度、F 推進会議では米・牛乳を重点品目として活動を推進しています。米の予約はコモンズ組合員 50%、デポー組合員 40%、新規組合員 30% を目標に利用を呼びかけました。牛乳利用は減少が続いており、2019 年度の利用重量に戻すことが目標です。

## ★ 共同購入の原点 牛乳・乳製品を食べ続けよう

牛乳は日本で初めて、組合員と生産者が直接提携して共同経営する牛乳工場で作られ、共同購入の原点となった消費材です。組合員が食べたいものを生産者がつくる—この約束が成立して初めて消費材は生まれます。

新生酪農生産者交流会ではパスタライズド牛乳の価値だけでなく飼料高騰や酪農全体の現状についてもお話を伺いました。食べ続けることが私たちの食を守り生産者を守ることに繋がります。ヨーグルトやバター、アイスも牛乳の仲間です。消費材として食べ続けるために牛乳の利活用を継続して呼びかけていきます。



新生酪農生産者交流会

## ★ お米 約束して食べることの意義

2024 年は年頭に能登半島地震で甚大な被害が発生し、年間を通して全国各地で様々な自然の脅威に見舞われました。私たちの大切なお米「遊 YOU 米」の産地、山形県遊佐町も例外ではありません。7 月下旬、庄内交流会が行われた翌日の豪雨により、土砂を含んだ濁流が容赦なく田畑に流れ込みました。水が引いた後も膨らみ始めた稲穂を襲われた田んぼには多くの砂利や流木などが残り、稲刈りに支障をきたすことが懸念されるほど、大きな爪痕を残しました。心配した多くの組合員が遊佐に赴きボランティア参加して復旧作業に尽力しました。

時を同じくして「令和の米騒動」も勃発。デポーの棚からお米が消え、OCR での注文もストップしましたが、予約分のお米については滞ることなく組合員の手元に届けられました。生活クラブのモットーである「作る約束、食べる約束」が発揮されたと感じています。これまで組合員と生産者が互いに作り上げてきた強固な信頼関係の現れです。新米の頃には米不足の心配もなくなりましたが、主食であるお米の予約（約束して食べること）の重要性を再確認することができました。現地でのボランティア参加や支援金へのたくさんのご協力に感謝いたします。

## ★ 地産地消へ 新鮮！地場野菜をもっと食べよう

神奈川の農を守り、食の自治の取り組みである神奈川県産地場野菜セットの予約は、今年度は全コモンズ対象に 11 月から 12 月にかけて、5 週連続で行われました。



「平凡野菜」藤原夫妻とともに

今回の地場野菜は、①神奈川県産②最短翌日配達的新鲜さ③はればれ野菜基準のおまかせ 3 点セットでした。湘南の目標 911 セット達成に向けて、10 月に横須賀市のレタス生産者「平凡野菜」の藤原さんご夫妻にお越しいただき、学習会を行いました。JGAP 認証 (\*1) を取得し、徹底した生産管理や異常気象下での野菜作りで苦労したあれこれを聞き、学びを深めました。藤原さんがもってきてくれたブーケのように大きなレタスの試食もしました。そのみずみずしさやおいしさ、また採れたてのレタスの美しさに参加者一同驚きました。

組合員の思いが集まり、湘南の予約は目標を大幅に上回る 1,015 セット、目標比 111.4%、神奈川全体の目標比でも 100% を達成しました！新鮮・安全で環境にも優しい地場野菜セットの取り組みを今後も続けていけるよう、地産地消の大切さや消費材の優位性について学び続け、伝えていきたいと思えます。

\*1 JGAP 認証  
Japan Good Agricultural Practices (日本の良い農業の取り組み) の略

## 【私たちのまちの身近な居場所②】

生活クラブ神奈川では、居場所活動を行う組合員と地域の人たちのアソシエーションを支援するために基金を設けて助成しています。湘南エリアで基金の助成を受けて居場所活動をしているアソシエーションを紹介していきます。

### ◆ SMILE CROSS にぎわい子ども食堂 ◆

ちがさきデポーの近くにある CROSS CAFÉ でにぎわい子ども食堂を 2022 年 4 月から始めました。月 1 回土曜の午後に 300 円のお弁当をテイクアウトも含め 150 食ほど用意しています。味も量も満足できる内容、お吸い物のほかポップコーンや綿あめは食べ放題、最後は紙芝居もあり、お子さんが楽しめるくふうがたくさん。居心地のよさにリピーターの人も多く、お子さんからシニアまで多世代の皆さんでいつもにぎやかです。コロナ禍で途切れた人と人とのつながりを取り戻したいという願いから始まったにぎわい子ども食堂は地域の居場所として根付いています。2 年目からは火曜～金曜の夕方に「くろちゃんとおみなの食堂」も始めました。お子さんが安心して勉強したりする場所としても活用できます。ぜひお子さんもおとなの皆さんも気軽に立ち寄ってみてください。



## はたらつく通信③

平塚市就労準備支援事業「はたらつく・ひらつか」  
—どんなところ？どんなことをしているの？

平塚市からの受託事業として 2021 年 3 月開始。JR 平塚駅北口徒歩 5 分、開所以来、平塚市内在住の生活困窮者 (\*1) と生活保護者 48 名が登録利用。スタッフ 6 名で運営しています。

利用者は「生活リズム (朝起きて夜眠る)」「健康 (食事・衛生含む)」や対人への緊張などをはじめ、多様な課題を抱えています。型にはめない多彩なプログラムを利用者のペースですすめています。《食》をテーマにしたプログラムは生活クラブ事業ならではの。季節行事の「サロン」やのんびりできる「居場所」は参加者の笑顔が見られる



企画です。また生活クラブ運動グループや一般の事業所で実習も行います。農家協力も得られているところは平塚市の特徴です。ボランティアサポーターや講座講師などで生活クラブ組合員が活躍し、おおぜいの「人」が関わっている事業です。

はたらつく・ひらつか代表  
君島周子

(\*1) 生活困窮者：就労・心身の状況、地域社会との関係性、その他の事情により困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある者。

## ～コモンズ・デポー大会に参加しよう～



コモンズ・デポー大会は、コモンズ・デポーにとって最も大切な決議機関です。運営委員会は自主運営・自主管理を行う組織として、年に一度、組合員による大会を開催することをコモンズ・デポーの運営規約でも定めています。

組合員から委任を受けた運営委員会が 1 年間の活動報告と決算報告を行い、次年度の活動方針と活動費の使い方を提案し、それに対して質疑や意見交換を行い組合員が決議する場です。次年度の運営委員や監査委員の選出も行います。

コモンズ・デポーの運営委員会の活動について議論し、決定するのは当該のコモンズ・デポーの組合員であり、組合員の参加があってこそその大会です。運営委員会にとっておおぜいの組合員に直接会って、活動内容を知ってもらい、大会に参加

する組合員のみなさんには自分ごととして、コモンズ・デポーの運営に関わっているということを確認することができる貴重な場です。

1 年に一度の大会に参加して、組合員による自主運営・自主管理のもと生活クラブの活動を共にすすめていきましょう。



## 2024 年度 中間監査報告概要

(2024 年 4 月 1 日～9 月 30 日)

- ・決算関係書類は財産及び損益の状況を適正に表示し、現金及び預金、施設は適切に管理されています。供給高は、計画比 101.2%、前期比 104.5% となり、計画達成し剰余が出たことを評価します。事業経費は計画通りに推移しています。
- ・班個の拡大は 56 名、達成率が 17.4% でした。デポーは拡大 128 名で、リニューアルオープンした鎌倉と、ひらつか西海岸が牽引しています。
- ・供給は、班個・デポーとも計画比、前年比が目標達成したことを評価します。
- ・コモンズ・デポー大会について「コモンズ・デポー大会のあり方プロジェクト」を立ち上げ、大会についての検討を重ね、答申では大会の意義、直接参加に対する重要性を再確認しました。
- ・まちづくり基金の参加目標達成に向けて、下期は共感と参加が増える事を期待します。